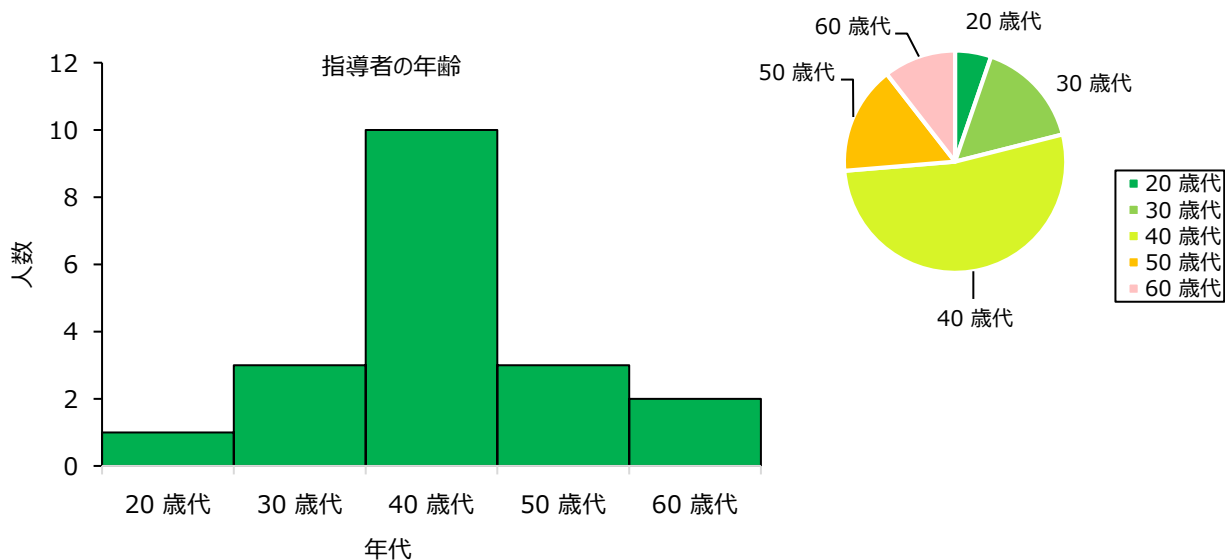


若年者ものづくり競技大会の指導者がおこなう課題指導について A2

競技職種：フライス盤

指導者についてのアンケート結果

指導者の年齢



	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	欠損値	合計
人数	1	3	10	3	2	3	22

指導者としての競技大会への参加経験

・参加経験

	若年者ものづくり 競技大会	技能五輪全国大会	技能五輪国際大会	技能グランプリ大会	その他の大会
あり	22	5	0	0	0
なし	0	11	15	15	0

選手としての競技大会への出場経験

・出場経験

	若年者ものづくり 競技大会	技能五輪全国大会	技能五輪国際大会	技能グランプリ大会	その他の大会
あり	1	1	0	3	1
なし	17	16	17	15	0

指導者の保有資格

	人数
1級機械技能士、指導員免許	1
技能検定、教員免許	1
技能検定、指導員免許	2
技能検定1級（旋盤）、指導員免許、教員免許	1
技能検定1級、指導員、教員免許	1
技能検定1級、指導員免許、教員免許、機械加工、保全、検査	1
教員免許	1
教員免許、技能検定等	1
教員免許、指導員免許	1
検定1級、指導員、教員免許	1
指導員（機械科） 一級フライス	1
指導員免許	2
指導員免許 技能検定	1
指導員免許、技能士1級	1
電線保全、マシニング1級	1
普通旋盤1級 機械検査1級 職業訓練指導員免許機械科	1
フライス2級、旋盤2級	1

課題についてのアンケート結果

(1) 事前公表課題の難易度（欠損値：1）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	13	0	8	0	0

(2) 事前公表課題対策（欠損値：0）

	対策はしなかった	対策をした
人数	1	21

(3) 対策内容

	人数
各形状に求められる狙い寸法と公差	1
加工工程の検討と練習	1
過去の課題や2級の練習など	1
過去の大会の課題	1
過去の問題製作	1
技能検定、フリス2級の課題	1
技能検定フリス盤2級への取り組み	1
旧課題での練習	1
組立寸法	1
形状の変形と細部の仕上	1
工具、作業内容の整理	1
工程	1
作業工程、工具の選定	1
図面の理解	1
前年度の課題製作	1
フラスニ2（二）技能検定の課題	1
本番で使用する機械での練習	1
前年度の課題製作に取り組ませた。	1
まずは2級技能検定の課題を何度も繰り返し1年間練習した。	1
練習中になるべく多くの失敗を経験させ、うまく行かない原因と対策をするように心掛けた。	1

(4) 指導上の難易度

・部品①②の加工工程（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	14	0	8	0	0

・部品①加工（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	13	0	7	0	2

・部品②加工（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	13	1	8	0	0

・組立精度（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい
人数	11	0	8	0	3

指導の際に、心掛けたこと

	人数
①の形状変形	1
安全、シンプルな工程。	1
安全、寸法管理、4S	1
安全第一を一番に考えて指導した。	1
安定した作品作りと安全作業	1
加工工程については選手に全て考えさせ、少しの助言を行った。作業性を良くするため、工具整理棚を製作し直した。	1
加工精度、組み付け精度、加工面のキズ	1
学校の設備（HITACHI製）と競技大会で使う設備（イツキ製）の操作の違い。Z軸の目盛値の違い。	1
時間と精度	1
時間内に完成すること。	1
失敗しても立て直すことができるメンタルをつくることです。	1
精度と表面粗さ	1
選手の学生らしさを一番大切にして生徒のみでの練習です。先輩、後輩の指導。	1
選手の納得	1
測定結果からの狙い寸法を考えさせること。バリ取り、面取り仕上げの均一化。	1
測定や加工時の基本動作	1
とくにない	1
特になし	1
モチベーションの持続	1
練習中になるべく多くの失敗を経験させ、うまく行かない原因と対策をするように心掛けた。	1